

食品安全委員会（第614回会合）議事概要

日 時：平成28年7月12日（火） 14：00～16：14

場 所：食品安全委員会大会議室

出席者：山添委員長代理ほか5名出席

傍聴者：報道12名、行政機関5名、一般14名

議事概要

(1) 食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

・ 遺伝子組換え食品等 1案件2品目

[1] 組換えDNA技術によって得られた微生物を利用して製造された添加物のうち、食品安全委員会が高度に精製されたものとして安全性を確認した品目と比較して有効成分が同一である等所定の項目を満たすものについて

[2] 「GGI株を利用して生産されたL-グルタミン」

[3] 「NZYM-LP株を利用して生産されたホスホリパーゼ」

→厚生労働省から説明。

本件については、遺伝子組換え食品等専門調査会において審議することとなった。

(2) プリオン専門調査会における審議結果について

・ 「牛海綿状脳症(BSE)国内対策の見直しに係る食品健康影響評価（健康と畜牛のBSE検査の廃止）」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当の熊谷委員及び事務局から説明。

本件については、意見・情報の募集手続に入ることとし、得られた意見・情報の整理、回答案の作成及び評価書案への反映をプリオン専門調査会に依頼することとなった。

(3) 農薬専門調査会における審議結果について

・ 「パクロブトラゾール」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

・ 「メタミホップ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当の吉田委員及び事務局から説明。

本件については、意見・情報の募集手続に入ることとし、得られた意見・情報の整理、回答案の作成及び評価書案への反映を農薬専門調査会に依頼することとなった。

(4) 遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

- ・「高度に精製され、安全性の確保に支障がないことが確認された食品添加物を飼料添加物として使用する場合に安全性の確保に支障がないことの確認について」に関する審議結果について

→担当の山添委員長代理から説明。

「既に食品安全委員会が「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方」（平成17年4月28日食品安全委員会決定）に基づき、安全性を確認した食品添加物については、飼料添加物として使用された場合であっても、当該飼料添加物は高度に精製されており、これを摂取した家畜に由来する畜産物の安全上の問題はなく、人の健康に及ぼす影響が変わるものではない。」ことから、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当すること、このため、同規定に関するこれまでの取扱いと同様に、意見・情報の募集手続は行わないことが確認された。

- ・「チョウ目害虫抵抗性ダイズMON87751系統（食品）」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について
- ・「低飽和脂肪酸・高オレイン酸及び除草剤グリホサート耐性ダイズMON87705系統、除草剤ジカンバ耐性ダイズMON87708系統並びに除草剤グリホサート耐性ダイズMON89788系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当の山添委員長代理及び事務局から説明。

本件については、意見・情報の募集手続に入ることとし、得られた意見・情報の整理、回答案の作成及び評価書案への反映を遺伝子組換え食品等専門調査会に依頼することとなった。

(5) 食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見について

- ・農薬「キンクロラック」に係る食品健康影響評価について
- ・農薬「フルオピラム」に係る食品健康影響評価について

→担当の吉田委員及び事務局から説明。

本件については、意見・情報の募集手続は行わないこととし、一日摂取許容量（ADI）及び急性参照用量（ARfD）を以前の委員会で決定した評価結果と同じ結論とすることとなった。

- ・農薬「イミダクロプリド」に係る食品健康影響評価について
- ・農薬「グリホサート」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明。

「イミダクロプリドの一日摂取許容量（ADI）を0.057 mg/kg 体重

／日、急性参照用量（ARfD）を0.1 mg/kg 体重と設定する。」
「グリホサートの一日摂取許容量（ADI）を1 mg/kg 体重／日と設定し、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がない。」
との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省及び農林水産省）に通知することとなった。

（6）食品安全委員会の運営について（平成28年4月～6月）

→事務局から報告。